

1歳児クラス 9月 第2回 「とってください」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> ・(棚の上などに絵本を置いておき) 講:「今日は絵本を持ってくるのを忘れた。〇〇先生、絵本を取って下さい!」と保育士にお願いする。 ・保: 絵本を取って「どうぞ」と渡す。 ・講:「ありがとう」と受け取り、絵本の表紙を見せながら「カメさんも『とってください』だって。何を取ってもらうのかな?」と絵本の世界に繋げて読み始める。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 		
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①「〇〇さん△△をとってください」「ありがとう」と繰り返される会話を子どもと一緒に言いながら、会話の大切さを伝えて行く。 ②登場する動物たち、それぞれの身体の特徴とそれに合わせた物の取り方、木や果物にも注目し、興味が持てるようにお話する。 	保育士の役割	
	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を持って登場、会話を広げる 		

がくしゅうタイム

活動①	ねらい	生活	「取って下さい」と自分のして欲しいことを相手に伝えることができる。		
設問	「取って下さい」「ありがとう」のことばを言って、クマさんにはりんご、リスさんにはみかんを取ってもらい、それぞれの動物さんにあげましょう。				
活動内容	ねらい	生活	<p>「取って下さい」「ありがとう」のことばを言って、クマさんにはりんご、リスさんにはみかんを取ってもらい、それぞれの動物さんにあげましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講:「カメさんお願いできて良かったね。ありがとうも言えて偉かったね」 ・保:「お腹空いたよー、何か美味しいものないかな」とプリント見せながら登場。 ・講: プリントを受け取り。リス・クマそれぞれの名称を子ども達と確認。 <p>数にチャレンジ・「動物さんは何匹いるかな?数えてみよう」講師と一緒に子ども達も「いち・に…全部で2(匹)」と声に出して数えて確認する。</p> <p>「何か美味しいものないかなー」と探索行動。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保:「美味しい物ありますよ」と果物の木を提示。「取って欲しい果物の名前言ってください。今日は先生が取ってあげます」 ・講:「何かあるのかな」と一旦木を受け取り、子ども達と名称確認。「クマさん何食べたい?(クマの絵に耳を傾け聞く真似)りんごが食べたいって。みんなでも願ってみようか」と誘い掛け、子ども達と一緒に「〇〇先生りんごを取ってください」と見本行動。 ・保:りんご1つ取って「どうぞ」と渡す。 ・講:「取ってもらったら何て言う?」と問いかけ、子ども達と一緒に「ありがとう」のことばを言ってりんごカードを受け取り、クマに「どうぞ」と言いながら貼る。同様にリスにみかんカードを貼っていく。(ゴミは皿の中) ・保:「ほく達も欲しいよー」と配布プリントを提示。 ・講:「こんなにたくさんのお友達が…みんなも取って貰おうか?」と意欲を引き出しプリント配布。 ※配布後、子ども達と一緒に数チャレ動物の数「2(匹)」を確認する。 ・保:果物の木を持って子ども達の前に立ち、子ども達からのことば(ことばの出ない子にはポーズや指さしでもよい)を待って「どうぞ」とカードを渡していく。 ・子:「〇〇取ってください」「ありがとう」の意思表示をしてカードを受け取りプリントに貼っていく。 ・講:「動物さんありがとうって言ってるよ」と称賛。「(再び耳を傾けて)まだまだお腹空かしてる友達がいるからよろしくだって…」と次の活動に期待を持たせてプリントを回収。<活動②>に進む。 	教材	<ul style="list-style-type: none"> P 1 P 1用果物カード2種(弱両面テープ付) 1人各1枚 クリアケース用木3枚 ※りんご・みかんそれぞれを提示用の木に貼っておく クリアケース3枚 皿(シールゴミ用)
				保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント提示 ・果物の木提示 ・「取ってください」のことばを受けて果物カードを渡す ・配布プリント提示 ・プリント配布 ・ゴミ用皿配備 ・子どもからの意思表示を受けて果物カード配布 ・称賛 ・プリント回収
活動②	ねらい	描く	「くるくる」をキーワードに、〇を塗ることができる		
設問	木に果物をいっぱい実らせて動物さん達に取ってあげましょう				

P2 クレヨン	教材
	保育士の役割
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「お友達誰が来るのかな？」 保：「僕達も果物欲しいな」とプリント提示。同時に子ども達にも配布する。 講：3匹の動物の名称確認後「果物無いね」と木の白い部分に注目。「そっだ良いこと考えた」とクレヨン提示。「見ててね。♪くるくる…ストップ!」「これ何だ?」と○の中を塗る見本行動(クレヨンをリズムカルに「くるくる」丸く動かす)。同様に色を変え(りんご・みかん・ぶどう・もも等)リズムよく○を塗る。子ども達と一緒に「スタート」「ストップ!」の掛け声と共に楽しく塗っていく。塗り終わったら「キリンさん何がいいですか?…りんごだっ」等と会話して動物に「どうぞ」とあげる真似をする。(保育士との掛け合いでも良い) 「みんなの動物さんも欲しいって言ってるかな?」と子ども達の興味を引き出してクレヨンを配布していく。 子：○に色を塗り(色は自由)動物と会話をするなど、ごっこ遊びの様に楽しむ。 ※状況を見てキーワードに合わせてエレビの音を入れ、楽しく塗っていく。 ※○が小さいのではみ出す位が良い。 講保：「くるくる」○を塗る動きが思う様に動かせない子に対しては、嫌がらない程度に手を添えゆっくり動きのコツを伝えていく。 子ども達一人ひとりに声を掛けながら楽しく盛り上げる。 [例]「これは何の果物?」「○○さんがぶどう下さいって言ってるよ」「ありがとうって言ってる」「先生もに○○下さい」「○○ちゃんに先生が取ってあげる。何がいい?」など会話の相手となって楽しく展開させる。 講：「動物さんお腹いっぱいになったみたい、良かったね。またね、ばいばい」と称賛。プリントを回収して終了する。

数チャレ	数	動物の数(2匹)を指さし数える	教材
設問	動物さんは何匹いるかな?数えてみましょう		
活動内容	※今回は<活動①>の中で実施します。		保育士の役割

出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	「とってください」「ありがとう」の言葉を繰り返し一緒に言いながら読み進めたか
活動①	「とってください」「ありがとう」の言葉を自ら発するように(態度でも)指導出来たか
活動②	キーワードを意識しながら指導したか
数チャレ	活動①に含む

楽習タイム♪

*** テーマ・生活***

どれが欲しい?

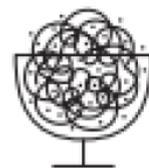
- 普段の生活中で「どっち(どれ)が欲しい?」と子ども自身が考え選ぶことができる場面を増やしていきましょう。
例：食べ物・身に着けるもの(服・靴)・遊ぶ道具・絵本等
- ※イヤイヤ期には特におすすめ。
「着替えたくない」「片付けたくない」「食べたくない」等に対して自分で選べる行為は子どもの自主性を刺激し「自分で考え自分で物事を決める」=「自信」や「自己肯定感」を育てることに繋がると考えます。



子ども達が選んだものに「でもこっちが良いんじゃない?」などのダメ出しは避けましょうね。

今月のえかきリズム

*** かきごおり***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

